

別添 8

全日本剣道連盟居合道委員会

中長期計画

2020年－2025年（5年間）

【 計画項目 】

- 1) 指導者としての意識改革
- 2) 全国大会開催地について
- 3) 指導要点の見直し
- 4) 全剣連居合の普及
- 5) 審査員・審判員となる者に対する古流の研鑽推奨
- 6) 中堅指導者の審判技術および指導力の向上
- 7) 居合道普及・発展のための調査・研究および問題点の改善
各都道府県居合道部で倫理委員の選定と、武士道精神の勉強会を実施。

【 項目別詳細 】

1) 指導者としての意識改革

居合道八段者に対して、実技およびコンプライアンスに関する研修会を実施し、指導者としての意識改革を図る。

2) 全国大会開催地について

全国大会の開催地については、これまで全国の各都道府県が持ち回りで行うこととしてきた。しかしながら、開催県が常に優勝しており、公正さを疑われるという事態が生じ、開催地について見直しを求められたため、現在までに決まっている石川県（2020年）ののち、2021年から2023年の3年間は東京都での開催に固定し、その後、全国大会開催地の固定が妥当であるか検討することとした。

3) 指導要点の見直し

昭和44年に全剣連居合が制定、「全日本剣道連盟居合 解説書」が発行され、以降現在まで用いられており、平成22年には更にその解説書を補助する「指導要点」が作られた。これらを今一度見直し、過不足無いものとする。

4) 全剣連居合の普及

年に一度、9月に開催する中央講習会と、年に1度、東日本、西日本でそれぞれ開催する地区講習会を通じて、全日本剣道連盟居合の普及を図る。

5) 審査員・審判員となる者に対する古流の研鑽推奨

審査員および審判員としての資質を高めることを目的とし、全剣連居合の研鑽と共に古流に対する知識を深め、より全剣連居合を深く理解し、更なる高みを目指す。

6) 中堅指導者の審判技術および指導力の向上

年に一度行われる中央講習会において、各都道府県から集まった代表者で審判法と実技を講習指導する。

7) 居合道普及・発展のための調査・研究および問題点の改善

年に一度開催される中央講習会において、アンケート調査を実施し、それを元に居合道の普及と発展、および問題点の改善のための調査研究を行う。

また、各都道府県居合道部で、倫理研修を行い、倫理観と武士道精神を高める。

【 年度別計画表 】

	目標	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
1	指導者の意識改革	実技およびコンプライアンスに関する研修会を実施					
2	全国大会開催地	石川県	東京都	東京都	東京都	東京都 又は大阪府	東京都 又は大阪府
3	指導要点の見直し	解説書と指導要点の見直し					
4	全剣連居合の普及	中央講習会（年1回）および地方講習会（東西各年1回）の開催					
5	古流の研鑽推奨	各講習会において、各古流に触れる機会を設ける					
6	審判技術および指導力の向上	中央講習会にて審判法と実技を講習指導（各都道府県代表者）					
7	居合道普及・発展	アンケート準備	調査実施	調査結果解析	問題点改善計画		
		倫理研修の実施					